

新 YCT と旧 YCT の比較

共通点

中国政府（教育部）実施の世界標準中国語検定試験です。（BCT、YCT、HSK）

日本では 29 歳まで青少年向けの試験です。

初心者から中級者まで学習できるものです。

相違点

	新 YCT	旧 YCT
項目	1、筆記試験：1 級～4 級 2、会話試験：初級、中級	1、筆記試験：1 級～3 級
内容	1、筆記試験：ヒアリング、読解、 書き取り（4 級のみ） 2、会話試験：初級、中級	1、筆記試験：ヒアリング、読解、 漢字の書き取り（2 級の み）、作文（3 級のみ） 2、会話試験：なし
HSK や CEF との 比較	図 1 をご参照ください。	HSK 等の比較はなし。 参考：単語量 ・1 級：300 前後 ・2 級：600 前後 ・3 級：800 前後
出題の絵 や内容	実用的写真が多く青少年の家族を含めた日常生活などの内容が多い（青少年向け）	子供向けの絵が中心であり、文字が多い（どちらかというと子供向け）
旧 YCT の 受験者 に対して	旧 YCT の受験者には新 YCT は内容が若干変化していますので新 YCT の受験と資格取得をお勧めします。	旧 YCT 教材は、受験の参考書や学習用教材としてお使いください。旧 YCT の国家資格は活用できます。

図 1

新 YCT	新 HSK	単語量	国際標準 中国語能力	欧州共通言語基準 (CEF)
	HSK6 級	5000 以上	5 級	C2
	HSK5 級	2500		C1
	HSK4 級	1200	4 級	B2
新 YCT4 級	HSK3 級	600	3 級	B1
新 YCT3 級	HSK2 級	300	2 級	A2
新 YCT2 級	HSK1 級	150	1 級	A1
新 YCT1 級		80		